

薄井人事課長を囲んで昼食会へのお誘い

女性部では、今年4月に金沢にいらした薄井人事課長を囲んで、お昼を食べながら気軽な意見交換ができる昼食会を行います。組合員・未組合員にかかわらず、全女性教職員に呼びかけていますので、ぜひご参加ください。

人事課はちょっと敷居が高いところというイメージがありますが、この会では人事課長とお昼をご一緒にしながら、私たちが日頃感じていることを気楽にお話しできる場にしたいと思っています。

昼休みの短い時間ですが、未組合員さんもお誘いいただき、多数のご参加をお待ちしています。

参加費は無料です!

職場のみなさん！ どうぞ説いて、ぜひ、来て下さい

日 時：7月15日（木）昼休み 12:00-12:45

場 所：角間組合事務所 お弁当準備します。

締 切：7月13日（火）

申込先：内線2105、直通262-6009



6月24日、世界の仲間を囲む会に参加して

「世界の仲間を囲む会—インドネシア、南アジアの文化を学びましょう—」に参加して、知らないインドネシアの地理、自然、文化—服装、食事、建物、冠婚葬祭—について、40分という短い時間で、たくさんのこと、講師のクリストファー=ヤントさん（金沢大学自然科学研究科の博士課程3年生）から、教えていただいた。

彼のプレゼンテーションは非常に上手だった。パワーポイントによる映像は、たくさんの写真や絵柄、ビデオなどを使い、非常に凝っていた（そのパワーポイントの作成には半日もかかったとのこと！）。また、ツアーコンダクターのような演出があった。「これから皆さんをインドネシアにお連れしましょう。閑空からインドネシアへ飛行機で行きます。シートベルトを締めてください」と言って、パワーポイントに地球儀が示され、日本からインドネシアへの矢印がゆっくりと動いたり、彼の出身地であるトラージャまで、山の中をドライブする車の中から本人が撮影した景色のビデオが流れたりと、演出が凝っていた。こうした演出のおかげで、昼の40分だけインドネシアに旅行したような錯覚を楽しめた。

私にとって、お話のすべてが大変興味深かったが、ここでは、トラージャの冠婚葬祭とお墓・葬法について簡単に紹介しよう。

伝統的な結婚式では、村中の人を招待し、太鼓の上に乗って踊るダンサーを雇ったりして、盛大に行われる。一回の葬儀は350万円の場合もある。その理由は、バッファローを闘わせて、負

けたバッファローを料理して参加者に振舞うため、複数のバッファローを購入するためだ。トラージャにしか生息しないバッファローは、1頭150万円もする!! 葬儀では、葬式用のダンスのエンターテイメンもある。こうした高額な葬儀で、一家が破産する場合もあるとのこと。トラージャの冠婚葬祭には、村中のほとんどの人が参加するなど、コミュニティーを作る上でも役立っているようである。

トラージャの墓地には、共同墓地と家族別など複数ある。子どもを対象にした共同墓地では、一体につき1つの人形を飾るらしい。家族別のお墓は、一軒家であった（ヤントさんご家族の墓地は、とてもきれいで、コテージとして利用できるのではないかと、思ったほどである）。風葬なので、異臭を避けて、住宅街から外れた山に墓地を設け、家族の墓地に棺が一杯になれば、もう一軒建てるそうだ。

豊富な映像と流暢な英語によるお話しで、仕事を一瞬だが忘れて、海外の雰囲気を味わえることが出来、とてもよいリフレッシュになった。ヤントさんは、今博士論文の最終段階で大変お忙しいと聞いた。そんな中丁寧なご報告をしていただいたことに感謝すると同時に、博士論文の執筆を引き続き頑張ってもらいたいと思う。（S）



トラジャ族の意匠の例

トラジャ語は音声言語であり文字を持たない。そこで、社会的または政治的な概念を伝達する手段としてパッスラ（Pa'ssura、「記述(the writing)」の意）と呼ばれる木彫り細工がある。それゆえ、木彫りはトラジャ族の文化を顯示したものと言える。

トラジャ族の木彫りパネル。それぞれの意匠は意味を持つ。それぞれ固有の名称を持つ木彫りだが、その主題は共通して何らかの美德を象徴する動物や植物である。例えばカニ、オタマジャクシ、カナダモといった水草や水棲動物は一般に多産を象徴するとみなされている。このような木彫りは、一つの例として正方形に彫られたパネルを並べて装飾に用いられるものが見られる。



木彫りのパネル

左図下にある水牛をモチーフとするパネルは富を象徴し、家族がたくさん水牛を持てるよう願いを込めてている。中央のパネルは結び目と箱をモチーフとし、物品が箱の中で安全に保管されているように家族が子孫代々幸福と調和にあふれた生活が送れることを願っている。左上と右上のパネルは水棲動物を表し、それらが水の上を進むときの様に、忍耐と勤勉の必要性と、それらが良き結果をもたらすことを説いている。

トラジャ族は、規則正しさと秩序立った構成、そして抽象的な具現と幾何学模様を自然の中に見出し、これらを共通の特徴として木彫り細工の中に反映している。これらの装飾は、民族数学分野での研究が進み、トラジャ人が持つ論理数学的概念を明らかにしているが、彼ら自身はこの装飾は単純に伝統的なモチーフを模倣したものだと考えている。この細工には竹が多用されている。（ウェブより転載：<http://www.weblio.jp/wkpja/content/トラジャ族文化>）



「水牛」



「太陽と光線」



「独演舞踏」



「伝統的装飾」